

令和4（2022）年度 資源評価調査状況報告書（新規拡大種）

ブロック：瀬戸内ブロック

サルエビ

海域	瀬戸内海	参加機関	水産研究・教育機構 水産資源研究所 底魚資源部、大阪府立環境農林水産総合研究所水産技術センター、兵庫県立農林水産技術センター水産技術センター、岡山県農林水産総合センター水産研究所、山口県水産研究センター内海研究部、徳島県立農林水産総合技術支援センター水産研究課、香川県水産試験場、福岡県水産海洋技術センター豊前海研究所、大分県農林水産研究指導センター水産研究部北部水産グループ、広島県立総合技術研究所水産海洋技術センター水産研究部
----	------	------	---

(1) 調査の概要

- ・各府県は漁獲統計調査を実施
- ・本年度は資源評価調査報告書の作成は行わず、漁獲統計等の更新および関連情報の収集を実施

(2) データ収集状況

- ・水産資源研では各府県データを取りまとめた
- ・大阪府では、1984年1月～2021年12月の標本漁協における小型底びき網（以下、「小底」という）による小えび類（サルエビ・アカエビ・トラエビ等を含む）の月別漁獲量と努力量を収集済み、2022年1月以降の同様のデータを収集中
- ・兵庫県では、2020年1月～2021年12月の標本漁協における小底による月別漁獲量と努力量を収集済み、2022年1月以降の同様のデータを収集中
- ・岡山県では、2020年1月～2021年12月の標本漁協における小底による小えび類の月別漁獲量と努力量を収集済み、2022年1月以降の同様のデータを収集中
- ・山口県では、2012～2021年の小底によるCPUEを収集済み、2022年以降の同様のデータを収集中
- ・徳島県では、2003年1月～2021年12月の標本漁協における小底による小えび類の月別漁獲量と努力量を収集済み、2022年1月以降の同様のデータを収集中
- ・香川県では、2002～2021年の標本漁協における小底による漁獲量と努力量を収集済み、2022年以降の同様のデータを収集中
- ・福岡県では、2019～2021年の標本船における小底によるCPUEを収集済み、2022年以降

の同様のデータを収集中

- ・大分県では、1981～2021年の標本船における小底による漁獲量と努力量を収集済み、2022年以降の同様のデータを収集中
- ・広島県では、2022年6～11月の標本船における小底による漁獲量と努力量を収集済み、2022年12月以降の同様のデータを収集中

(3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：令和2年度に公表済み
- (2) 年齢・成長：令和2年度に公表済み
- (3) 成熟・産卵：令和2年度に公表済み
- (4) 被捕食関係：令和2年度に公表済み

(4) 備考

- ・資源評価調査報告書については令和2年度に作成および公表済み